

Ⅱ-17 患者誤認防止

○要点

1. 患者情報登録はカルテの基本となるものであり、情報入力に間違いがないように漢字も確認して入力する。
同姓同名患者がいる場合は、コメント欄に記載する
2. 外来にて患者確認をする時は、入室時に患者からフルネームで名乗ってもらい確認する。
また、名乗れない患者に対しては、一緒に来院している家族や付き添いに確認する。
(どちらも出来ない場合は基本伝票を患者に見せ確認することでも可能)
3. 外来での採血時・レントゲン撮影時・生理機能検査では各科より集まってくるため同姓同名患者の判別が必要になるが、リストバンドでの確認が出来ないため、生年月日も同時に言う
4. 入院患者の患者確認は、フルネームで患者に名乗って貰う事の他にリストバンド、ベッドネームにて確認も行う
注射の場合は患者に名乗って貰うと共に電子カルテのバーコード認証システムも行う
5. 薬剤や輸血を投与する場合は、必ずダブルチェックを行い使用薬物が合っているかの確認を行う
6. 手術室では、申し送り時に手術室看護師と病棟看護師の 2 名で、患者にフルネームを名乗ってもらい、リストバンドで患者氏名・生年月日・IDを確認する

患者誤認防止

エラー発生要因	事故防止対策	留意点
1. 入力の間違い	<p>患者情報の確認</p> <p>①初診申し込み用紙より患者に確認しながら氏名を入力する</p> <p>②入力後、再度読み方を聞き、間違いがないか確認する 出力した基本伝票を見せながら確認する</p>	
2. 同姓同名の間違い	<p>カルテでの確認</p> <p>①同姓患者が登録されたら</p> <p>②同姓患者が同じ診療科を受診している事がわかれば、 患者コメントに「同姓同名あり」と入力する</p> <p>表示で予防する</p> <p>①同姓の患者が入院した場合は、ナースコールボードと IDカード・薬配ケースには同姓注意のシールを貼り注意 喚起する</p> <p>②同姓同名患者が入院した場合は、病室やチームを変更 するなど工夫する</p> <p>患者確認</p> <p>①患者に直接、フルネームと生年月日を言って貰う</p> <p>②名乗れないときはリストバンド・ベッドネームで確認する</p>	
3. 伝達・確認不足 による患者取り違え	<p>基本的な手順の遵守</p> <p>手術</p> <p>①手術室へ申し送る看護師とともに、患者にフルネームを 名乗ってもらい、リストバンドで患者氏名と生年月日、IDを 確認する。</p> <p>②申し送り看護師の読み上げた名前と手術伝票の患者氏名 が合致しているか確認する。</p> <p>③患者と持参物品は一緒に移動させる。</p> <p>④申し送りを受けた看護師が患者の確認を行い、手術室内 への移送を行う。</p> <p>与薬・注射</p> <p>①与薬する内容をダブルチェックにて6Rを確認する</p> <p>②実施者はフルネームで患者または家族に名乗ってもらい 本人であることを確認する 名乗れない場合は、ベッドネームとリストバンドでフルネー ームを声だし指さし確認する</p> <p>③注射は注射シールとリストバンドでバーコード認証も行う</p>	